

京急電鉄120周年 × 養老鉄道100周年 「京急と養老をつなぐキャンペーン」 立川勇次郎氏が設立した両社で、さまざまなイベントを実施します！

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）と養老鉄道株式会社（本社：岐阜県大垣市，社長：原 恭，以下 養老鉄道）は、2019年1月21日（月）から8月16日（金）まで、「京急と養老をつなぐキャンペーン」を実施します。

このキャンペーンは、設立者が立川勇次郎氏という共通点をもつ、京急電鉄と養老鉄道が共同で行うものです。京急電鉄が2019年1月21日（月）に開業120周年を迎えること、養老鉄道が2019年4月27日（土）に全通100周年を迎えるにあたり、このキャンペーンを通して関東地方と中部地方をつなげていきます。また、立川勇次郎氏が電気鉄道の発展に大きな影響を与えたことを広く知っていただく機会といたします。

期間中は、京急電鉄と養老鉄道をつなぐスタンプラリーを行い、関東から中部、中部から関東への誘客を行うほか、記念ヘッドマークの掲出などによりキャンペーンの周知を図っていきます。その他さまざまなイベントを予定しておりますので、詳細が決まり次第お伝えいたします。京急電鉄と養老鉄道は今後も沿線の魅力の発信と活性化に努めてまいります。

なお養老鉄道では、全通100周年を記念して100の企画を実施していきます。その第1弾としてスタンプラリーを、第2弾として記念ヘッドマークの掲出をそれぞれ京急電鉄と共同して実施します。

詳細は別紙のとおりです。



キャンペーンポスター



京急電鉄 600形



養老鉄道 600系

「京急と養老をつなぐキャンペーン」について

1. スタンプラリー

- (1) 実施期間：2019年1月21日（月）～5月19日（日）
- (2) スタンプ設置駅：【京急電鉄】川崎大師駅，日ノ出町駅，新逗子駅（南口）
【養老鉄道】大垣駅，養老駅，多度駅
※スタンプ台帳は，京急電鉄各駅と養老鉄道有人駅（揖斐駅・大垣駅・西大垣駅・養老駅・駒野駅・多度駅・下深谷駅・桑名駅）で配布します。
- (3) 賞 品
 - イ. スタンプ6個・・・オリジナル2wayショルダートートバッグ（先着400名様）
オリジナルピンバッジ（抽選100名様）
 - ロ. スタンプ4個・・・オリジナルステンレスマグカップ（先着700名様）
オリジナルブランケットギフトセットタンブラー付き（抽選120名様）
 - ハ. スタンプ3個・・・オリジナルクリアファイル（先着5,000名様）
 - ニ. 参 加 賞・・・オリジナル缶バッジ（先着5,000名様）※参加賞は，2019年5月開催予定の京急ファミリー鉄道フェスタ2019にて交換いたします。

2. 記念ヘッドマークの掲出

- (1) 掲出期間：2019年1月21日（月）～8月16日（金）
- (2) 掲出車両：京急電鉄6071編成，養老鉄道D02編成
- (3) ヘッドマークデザイン：右記参照



ヘッドマークデザイン

3. お客様のお問い合わせ先

京急ご案内センター TEL. 03-5789-8686/045-441-0999
(平日 9:00～19:00 土・日・祝日 9:00～17:00)
※営業時間は変更になる場合がございます。

養老鉄道株式会社 総務企画課 TEL. 0584-78-3400
(平日 9:00～18:00)

参 考

●立川勇次郎について

1862年（文久2年）美濃国（岐阜県大垣市）生まれ。24歳の時に東京で弁護士（当時の呼び名は代言人）として開業。3年後、実業家へ転向し、先進的な電気鉄道の実用化に向けて奔走します。1898年（明治31年）には電気機器製造会社社長 三吉正一らと京急電鉄の前身である大師電気鉄道株式会社設立。ついに、電気鉄道開通の扉を開けました。困難を極めた開発、線路を作る際の土地問題などを乗り越え1899年（明治32年）1月21日、関東初となる電気鉄道が開業しました。その後、立川氏は故郷の開発のために帰郷。1911年（明治44年）これまで培ったノウハウを生かして、養老鉄道を設立。首都圏だけでなく、故郷・西濃の交通の発展に大きな影響を与えた「西濃の偉人」でもあります。その功績と精神は現代まで語り継がれ、受け継がれています。

●養老鉄道について

京急電鉄の設立者である立川勇次郎氏が1911年に初代の養老鉄道株式会社を設立。同社は、その後揖斐川電気株式会社（現在のイビデン株式会社）との合併・分離等を経て、参宮急行電鉄株式会社（現在の近鉄グループホールディングス株式会社）と合併した。2007年に養老線の運営を引き継ぐ現在の養老鉄道株式会社が設立された。